

(7) 土 木 費

事業名		県道新設改良事業			予算科目	会計	01	一般会計
						款	08	土木費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	02	道路橋梁費
担当部署	建設	部	土木建設	課		目	04	道路新設改良費
事業費				19,648,449 円	事業の目的・目標	生活圏の拡大と市民の利便性を向上するため、地域の幹線道路である県道の整備を図る。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債	90%	16,800,000 円					
	その他			円				
	一般財源			2,848,449 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

県の実施する県道整備事業について、負担金を支払う。

路線名	箇所	内容	事業費	負担率	負担額
一般県道大田井田江津線	波積	改良 ダム関連	115,000,000	10/100	11,500,000
一般県道浅利渡津線	渡津	改良	6,002,600	10/100	600,260
主要地方道大田桜江線	谷住郷	改良	3,347,400	10/100	334,740
一般県道大田井田江津線	波積	生活関連	16,667,163	15/100	2,500,074
一般県道川平停車場線	都治	生活関連	15,000,000	15/100	2,250,000
一般県道江津港線	江津駅前	都市関連	28,045,000	7.5/100	2,103,375
一般県道江津港線	江津駅前	県単街路	2,400,000	15/100	360,000
合 計			186,462,163		19,648,449

事業名		橋梁長寿命化事業		予算科目	会計	01	一般会計
					款	08	土木費
事業開始年度	平成 23 年度	事業進捗率	%		項	02	道路橋梁費
担当部署	建設 部	土木建設 課			目	05	公共道路事業費
事業費			141,920,060 円	事業の目的・目標	平成22年度に策定した江津市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、著しい変状が確認された橋梁を、順次補修する。併せて、計画に基づき定期点検を実施する。		
財源内訳	国庫支出金	60%	73,288,959 円				
	県支出金		円				
	地方債	90%	52,300,000 円				
	その他		16,250,000 円				
一般財源		81,101 円					

※事務費及びその他は補助対象外
 ※その他：国土交通省管理部材補修工事費受託分

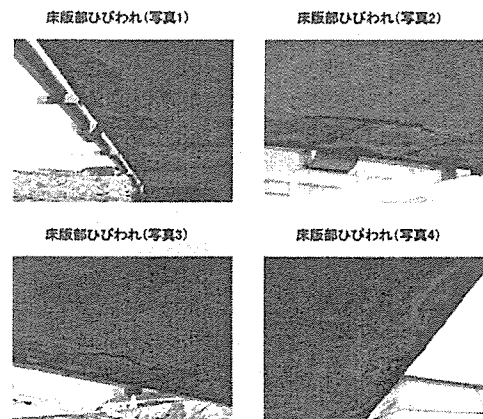
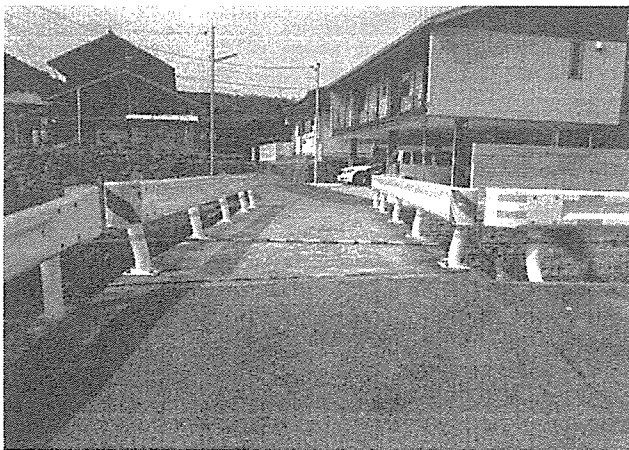
施策の内容、実績、及び効果

○事業内容及び実績

H24年度：新江川橋床版補修 L=308m
 H24年度：西ヶ原橋橋梁補修 L=10m
 H24年度：橋梁定期点検 N=201橋

単位：円

区 分	予算現額	決算額	翌年度への繰越額	備 考
工 事 請 負 費	131,356,100	130,523,400		新江川橋床版補修工事
委 託 料	41,302,300	7,440,900	33,861,400	設計書作成・工事監理業務 橋梁補修調査設計、橋梁定期点検
事 務 費	4,017,600	3,955,760		人件費、旅費、庁費等
合 計	176,676,000	141,920,060	33,861,400	



西ヶ原橋橋梁補修事業

事業名	橋梁長寿命化事業（繰越）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	08	土木費
事業開始年度	平成 23 年度	事業進捗率	%		項	02	道路橋梁費
担当部署	建設 部	土木建設 課			目	05	公共道路事業費
事業費				事業の目的・目標	平成19年度に国土交通省が橋梁の点検を行ったところ、塗裝修繕や補強工事が必要と判断された。国土交通省は平成20年度から補修工事を行っており、橋梁を一体的に維持管理する上で、江津市においても占用部分の塗裝修繕や補修工事を行い橋梁の長寿命化を図る。		
財源内訳	国庫支出金	60%	21,739,871 円				
	県支出金		円				
	地方債	100%	11,800,000 円				
	その他		21,027,979 円				
	一般財源		1,924,867 円				

※事務費及びその他は補助対象外

※その他：国土交通省管理部材補修工事費受託分

施策の内容、実績、及び効果

○事業内容及び実績

H23年度（繰越）：新江川橋床版補修 L=155m

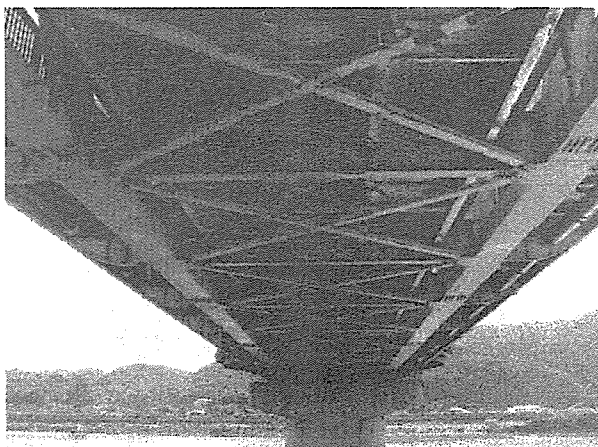
単位：円

区分	予算現額	決算額	翌年度への繰越額	備考
工事請負費	55,300,850	55,300,850		
委託料	1,008,500	1,008,500		設計書作成・工事監理業務
事務費	349,138	183,367		庁費等
合計	56,658,488	56,492,717		

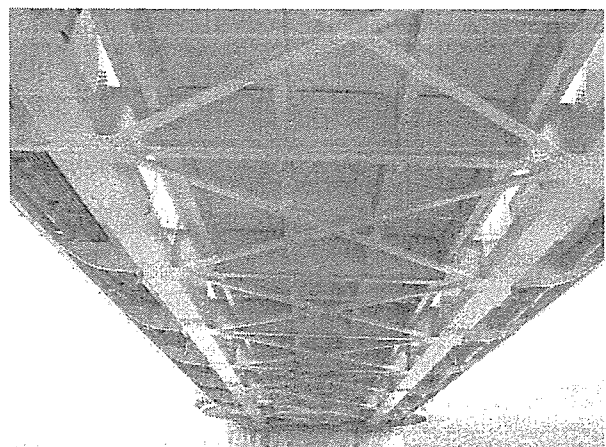
決算額のうち昨年度からの繰越額

56,492,717円

着工前



竣工



平成23年度新江川橋床版補修工事

事業名		通学路整備事業			予算科目	会計	01	一般会計
						款	08	土木費
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率		%		項	02	道路橋梁費
担当部署	建設 部	土木建設 課				目	05	公共道路事業費
事業費		4,100,250 円			事業の目的・目標	平成24年に実施された通学路点検により、対策が必要と報告された箇所について対策工事を実施し、通学児童の安全確保を図る。		
財源内訳	国庫支出金	60%	2,460,150 円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		1,640,100 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業内容及び実績

市道要対策報告箇所 92箇所
平成24年度実施箇所 26箇所

単位：円

区 分	予算現額	決算額	翌年度への繰越額	備 考
工 事 請 負 費	71,510,000	4,100,250	67,400,000	通学路交通安全施設整備工事
委 託 料	2,500,000		2,500,000	測量設計業務委託
補償補填及び賠償金	1,500,000		1,500,000	物件移転補償費
事 務 費	1,150,000		1,150,000	庁費
合 計	76,660,000	4,100,250	72,550,000	

着工前



市道敬川川波線

竣 工



市道敬川川波線

平成24年度 通学路交通安全施設整備工事

事業名	和木南団地2号線改良事業(繰越)			予算科目	会計	01	一般会計
					款	08	土木費
事業開始年度	平成 23 年度	事業進捗率	100 %		項	02	道路橋梁費
担当部署	建設 部	土木建設 課			目	05	公共道路事業費
事業費				事業の目的・目標	本路線は近年、路面にクラックが発生し、一部沈下が認められるなど、道路に変状が見られる。また、道路の変状に伴い、近隣の住宅においても土留擁壁が沈下、滑動するなど住民生活へも支障をきたしている。このまま道路が崩壊した場合は、近隣住宅へ多大な影響を与えることから、災害を未然に防ぐための対策が必要である。		
財源内訳	国庫支出金	60%	17,199,874 円				
	県支出金		円				
	地方債	90%	1,600,000 円				
	その他		円				
一般財源		181,254 円					

※事務費は補助対象外

施策の内容、実績、及び効果

○事業内容及び実績

H23年度(繰越) : L=135m, W=5.5m

単位：円

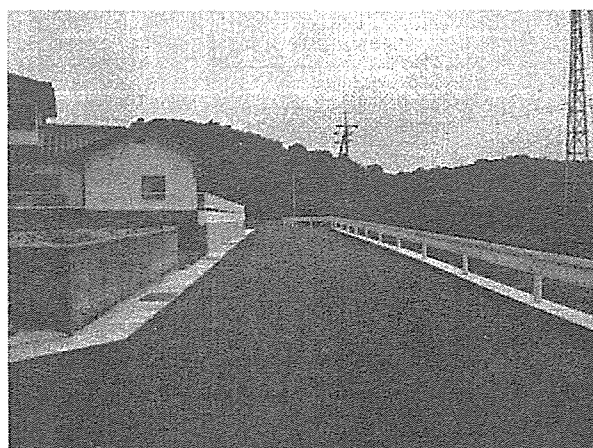
区分	予算現額	決算額	翌年度への繰越額	備考
工事請負費	19,742,200	16,997,700		
事務費	300,000	202,174		庁費
合計	20,042,200	17,199,874		

決算額のうち昨年度からの繰越額

17,199,874円

着工前

竣工



平成23年度市道和木南団地2号線災害防除工事

事業名		下の原1号線改良事業		予算科目	会計	01	一般会計
事業開始年度		平成 24 年度	事業進捗率		款	08	土木費
担当部署		建設	部 土木建設		項	02	道路橋梁費
			課		目	05	公共道路事業費
事業費			3,898,138 円	事業の目的・目標	江の川本流の増水で樋門締切等の影響により、内水の増水のため市道の一部がたびたび冠水し、地区の避難場所である下の原集会所から国道261号への通行が不可能な状況となる。 このような状況を改善するために、市道の嵩上げ改良を行い緊急時の避難路としての機能を確保する。		
財源内訳	国庫支出金	60%	2,279,340 円				
	県支出金		円				
	地方債	100%	1,600,000 円				
	その他		円				
一般財源			18,798 円				

※事務費は補助対象外

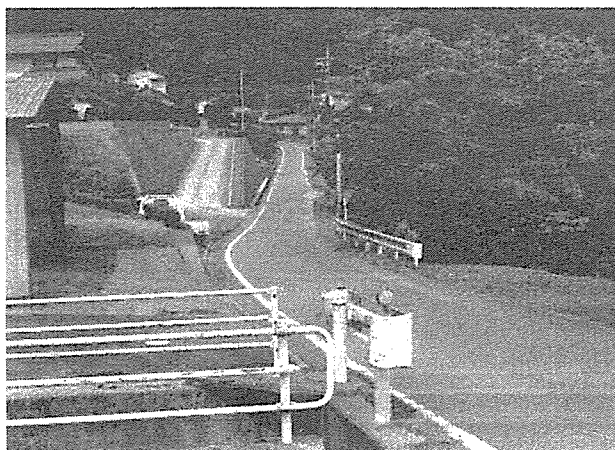
施策の内容、実績、及び効果

○事業内容及び実績

H24年度 : L=188m, W=5.0m

単位：円

区 分	予算現額	決算額	翌年度への繰越額	備 考
工 事 請 負 費	26,000,000	0	26,000,000	
委 託 料	3,800,000	3,798,900		測量設計業務委託
公有財産購入費	500,000	0	500,000	用地取得費
補償補填及び賠償金	3,500,000	0	3,500,000	物件移転補償費
事 務 費	810,000	99,238	710,000	庁費等
合 計	34,610,000	3,898,138	30,710,000	



平成24年度市道下の原1号線道路改良工事

事業名	築港線道路整備事業（繰越）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	08	土木費
事業開始年度	平成 23 年度	事業進捗率	100 %		項	02	道路橋梁費
担当部署	建設 部	土木建設 課			目	05	公共道路事業費
事業費		11,200,708 円			東高浜地区は、平成22年度から住宅市街地総合整備事業（密集住宅市街地型）に着手し、区域内の住環境整備を促進している。この区域の区画道路が接続することとなる本路線は、幅員狭小のうえ、歩道、道路側溝も未整備な状況であるため、歩道を含めた道路整備を行い、安全・安心な通行の確保を図る。		
財源内訳	国庫支出金	60%	6,667,650 円	事業の目的・目標			
	県支出金		円				
	地方債	100%	4,500,000 円				
	その他		円				
一般財源		33,058 円					

※事務費は補助対象外

施策の内容、実績、及び効果

○事業内容及び実績

H23年度（繰越） : L=164m, W=11.0 (6.0m)

単位：円

区 分	予算現額	決算額	翌年度への繰越額	備 考
工 事 請 負 費	11,112,750	11,112,750		
委 託 料	0	0		
事 務 費	126,808	87,958		庁費等
合 計	11,239,558	11,200,708		

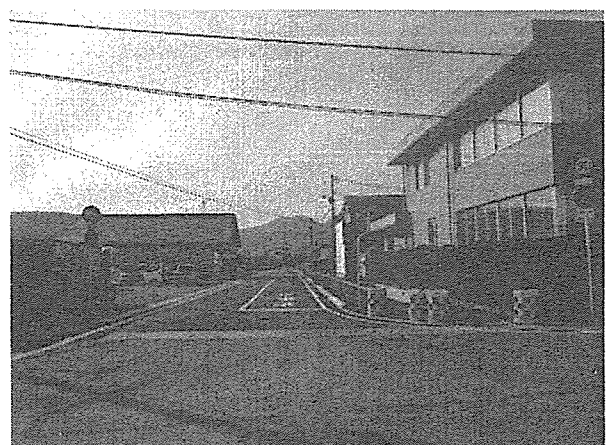
決算額のうち昨年度からの繰越額

11,200,708円

着工前



竣 工



平成23年度市道築港線道路改良工事

事業名		波積ダム建設事業		予算科目	会計	01	一般会計
					款	08	土木費
事業開始年度	平成 11 年度	事業進捗率	33 %		項	03	河川費
担当部署	建設 部	土木建設 課			目	01	河川総務費
事業費			14,992,530 円	事業の目的・目標	都治川治水ダム建設事業に関連し、幅員5mの林道岩龍寺線を整備して機能回復を図るとともに、市の文化財である「岩龍寺の滝」へのアクセス道路として活用する。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債	100%	14,900,000 円				
	その他		円				
	一般財源		92,530 円				

施策の内容、実績、及び効果

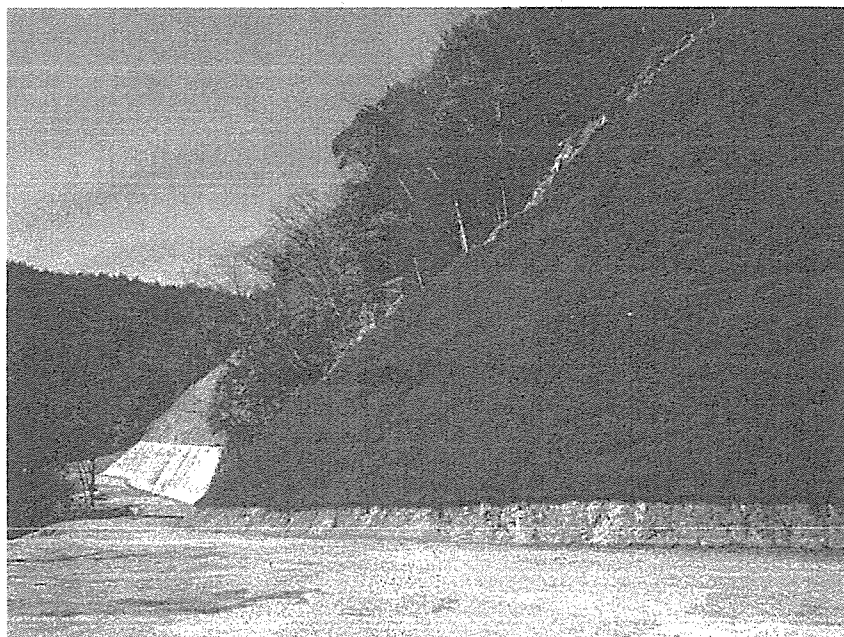
○事業の内容、実績

林道岩龍寺線の付替えにより「岩龍寺の滝」へのアクセス道路を整備する。
整備にあたり、現幅4mを5mに拡幅するため、市においては、1m分の費用を負担する。

単位：円

区分	内容	事業費
波積ダム建設事業負担金	付替林道負担金	14,992,530

林道岩龍寺線付替工事



事業名		県河川浄化対策事業			予算科目	会計	01	一般会計
						款	08	土木費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	03	河川費
担当部署	建設	部	土木建設	課		目	02	河川維持費
事業費				5,997,600 円	事業の目的・目標	県が管理する河川において、草木等の除去を行い、河川環境を改善する。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金	50%		2,998,000 円				
	地方債			円				
	その他			円				
	一般財源			2,999,600 円				

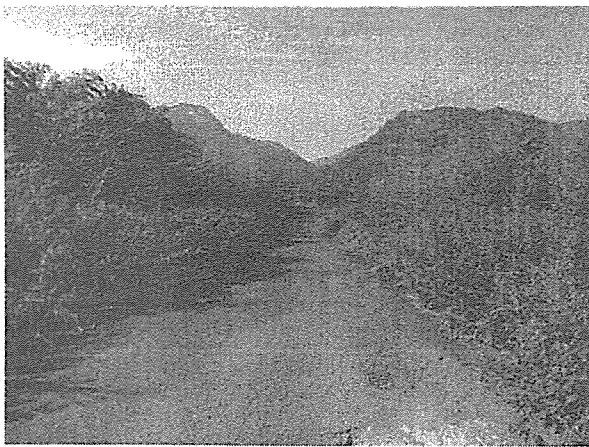
施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

単位：円

区分	金額	備考
工事請負費	5,997,600	八戸川・小谷川・水尻川・新川・敬川・北川・長良川・奥谷川
合計	5,997,600	

着工前



竣工



八戸川河川浄化事業

事業名		急傾斜地崩壊対策事業			予算科目	会計	01	一般会計
						款	08	土木費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	03	河川費
担当部署	建設	部	土木建設	課		目	03	河川改良費
事業費				3,267,282 円	事業の目的・目標	急傾斜地の崩壊による災害から市民の生命・財産を保護するため、急傾斜地崩壊危険区域内に擁壁、排水施設、その他の崩壊防止施設を設置する。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金			円				
	地方債	90%	700,000 円					
	その他			1,517,282 円				
	一般財源			1,050,000 円				

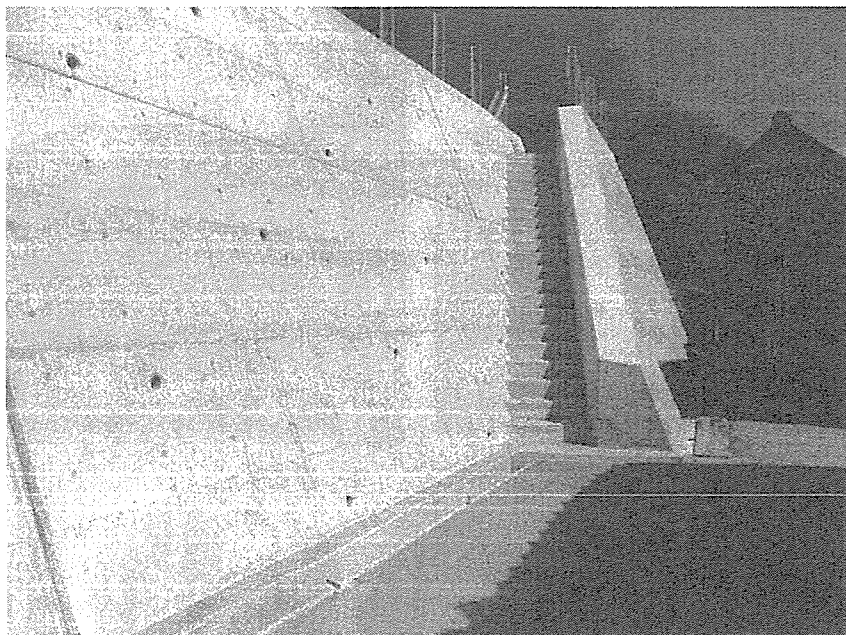
江尾地区県単急傾斜地対策防止事業における受益者分担金 1,517,282円 計上

施策の内容、実績、及び効果

単位：円

地区名	内容	事業費	負担率	負担額
八 神 地 区	擁壁工等1式	35,000,000	5/100	1,750,000
合 計		35,000,000		1,750,000

八神地区竣工写真



事業名	土地利用一体型水防災事業（川平地区）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	08	土木費
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率	%		項	03	河川費
担当部署	建設 部	土木建設 課			目	03	河川改良費
事業費		11,663,096 円		事業の目的・目標	これまで、一級河川江の川の増水により、幾度となく川平地区が冠水して被害をもたらしている。これまで、国交省・関係する地権者・推進協議会と協議を行い、JR三江線川平駅より、上流区域（2ブロック）の合意が得られた事から、国交省と江津市が一体となって行う。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債	100%	10,400,000 円				
	その他		円				
	一般財源		1,263,096 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

単位：円

区 分	金 額	備 考
事 務 費	211,577	旅費・需用費（消耗品費）・役務費等
委 託 料	987,000	測量設計及び用地調査等委託料
公 有 財 産 購 入 費	10,464,519	用地取得（地権者7名・14筆）
合 計	11,663,096	

家屋解体着工前



家屋解体完了



事業名		石州瓦利用促進助成事業			予算科目	会計	01	一般会計
						款	08	土木費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	05	都市計画費
担当部署	建設	部	都市計画	課		目	01	都市計画総務費
事業費		5,787,000円			事業の目的・目標	江津市の特色景観である石州赤瓦の家並みの保存創出と地場産業である瓦産業の活性化のため、屋根に石州赤瓦を利用する建築物に対して補助金を交付する。		
財源内訳	国庫支出金	50%	5,119,600円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		667,400円					

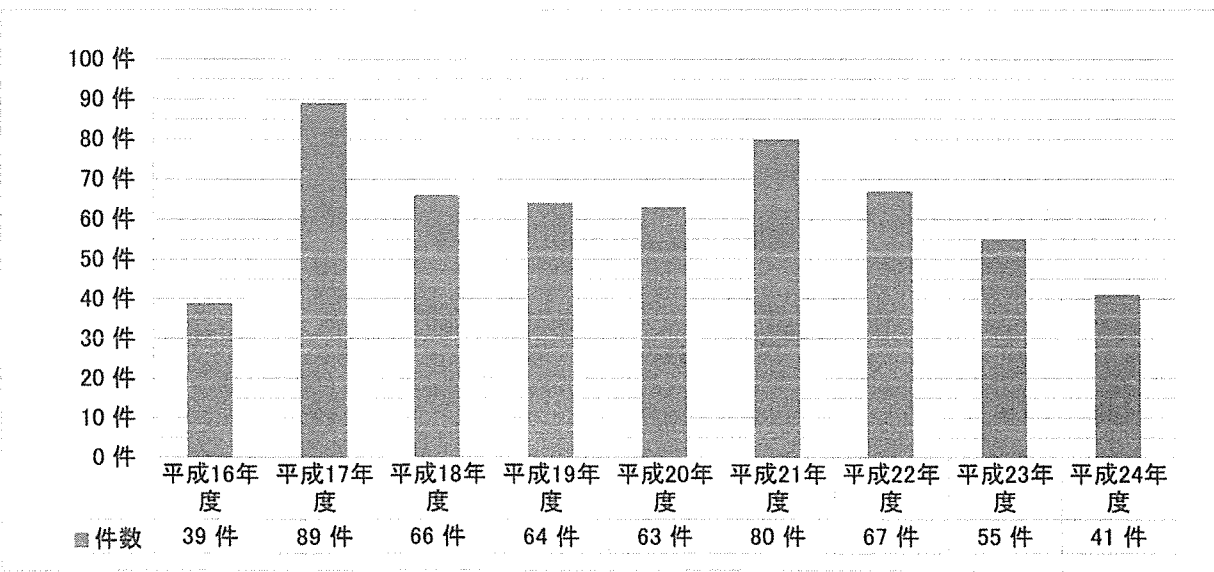
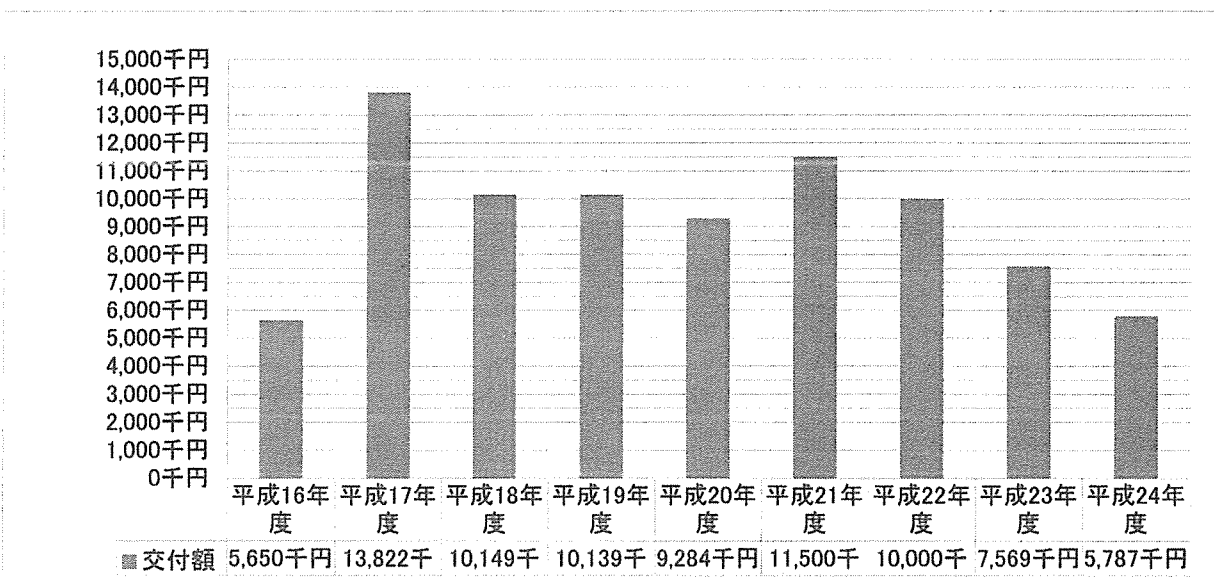
施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

平成16年10月より事業を開始し、石州赤瓦を使用する屋根面積80㎡以上の新增築及び屋根替え物件に対し、㎡当たり1,000円、または1,500円（地域指定）の補助金を交付している。

○事業の実績

平成24年度は新築25件、屋根替え16件 合計41件分 5,787,000円の補助金を交付した。



事業名		地域景観形成促進事業			予算科目	会計	01	一般会計
						款	08	土木費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	05	都市計画費
担当部署	建設	部	都市計画	課		目	01	都市計画総務費
事業費(A)		7,112,927円			事業の目的・目標	江津市固有の景観資源を活かしたまちづくりを進めていくため、景観計画および景観条例を策定し、市民・事業者・行政の協働により推進していく方針を定める。		
財源内訳	国庫支出金			円				
	県支出金	50%		2,996,000円				
	地方債			円				
	その他			円				
一般財源		4,116,927円						

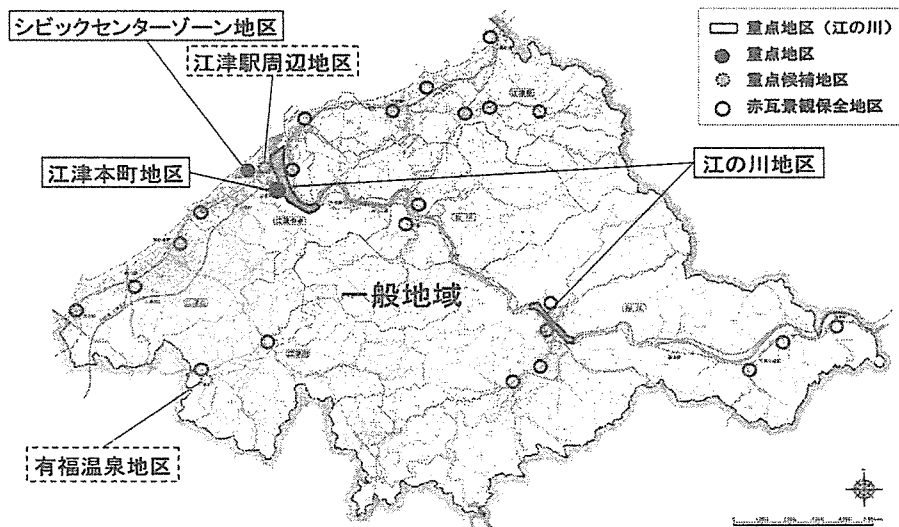
施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 景観計画区域の設定、景観形成方針の検討、届出対象行為及び行為の制限の検討、景観重要建造物・景観重要樹木の指定方針の検討等
- ワークショップの開催（市民意見把握と反映）
- 景観条例（案）の検討
- 関係機関との協議（浜田河川国道事務所）
- 赤瓦住宅計画指針（案）見直し
- 住宅用太陽光発電施設設置のあり方検討
- 景観計画策定委員会等の開催

○事業の実績

- 基本目標及び方針を定め、「重点地区3カ所・重点候補地区2カ所・赤瓦景観保全地区23カ所」を選定した。それぞれの景観形成基準に従って良好な景観形成を進めていくこととする。
- 基本目標：豊かな自然と歴史に育まれた江津市らしい誇りと愛着のあふれる景観まちづくり
 基本方針：①豊かな郷土の自然を守り・活かす 自然の景観まちづくり
 ②歴史や伝統を守り・伝える 歴史と文化の景観まちづくり
 ③街なみを整え・創る 生活と営みの景観まちづくり



景観形成基準区分図

○事業の効果

市内に点在する景観資源を明らかにし、景観計画に景観まちづくりを推進していくための方針を定めたことで、この方針に基づいて効率的に取り組んでいくことができる。今後は地域住民への啓発活動を行うことや、有識者等周囲との連携をより深め、庁内体制を整備し、景観施策の相互連携を図ることが求められる。

事業名		住宅・建築物安全ストック形成事業			予算科目	会計	01	一般会計	
事業開始年度		平成	年度	事業進捗率		%	款	08	土木費
担当部署		部				課	項	05	都市計画費
							目	01	都市計画総務費
事業費					5,764,000 円	事業の目的・目標	住宅・建築物の最低限の安全性を確保するため、耐震性の向上等を目的とした国の補助制度を活用し、木造住宅や公共建築物の耐震化の促進を図る。		
財源内訳	国庫支出金	1/3	2,063,000 円						
	県支出金	1/4	187,000 円						
	地方債		円						
	その他		円						
	一般財源		3,514,000 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

昭和56年5月31日以前に着工された2階建て以下の木造住宅及び、市の防災計画に掲げる災害時に重要な機能を果たす建築物の耐震診断並びに改修工事に係る補助を行い耐震化率の向上を図る。

木造住宅の耐震診断費に対し上限5万円、耐震改修費に対し上限75万円の補助を行う。
公共建築物については、対象金額の1/3の補助を受け耐震化事業を行う。

○実績及び効果

- ・ 木造住宅の耐震診断費 補助件数 2件
- ・ 木造住宅の耐震改修費 補助件数 1件
- ・ 市民体育館の耐震診断を実施した結果、耐震補強の必要性が確認されたため次年度において耐震補強設計を行う計画である。

事業名	公園施設長寿命化事業（菟沢公園）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	08	土木費
事業開始年度	平成 24 年度	事業進捗率	100 %		項	05	都市計画費
担当部署	建設 部	都市計画 課			目	02	都市公園管理費
事業費 (A)			3,780,000 円	事業の目的・目標	菟沢公園の公園施設について、今後進展する老朽化に対する安全対策の強化及び改築・更新費用の平準化を図る観点から、適切な施設点検、維持補修等の予防保全的管理の下で、既存ストックの長寿命化対策及び計画的な改築・更新を行う。 計画期間は平成26年度～平成35年度の10年間とする。		
財源内訳	国庫支出金	50%	1,890,000 円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		1,890,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

健全度調査（一般施設・遊具等施設・建築物）と健全度、緊急度判定
長寿命化計画の策定

○事業の実績

●対象施設

一般施設：

種別	数量（施設）	施設の内容
一般施設A	42施設	バスケットゴール、照明施設・引込柱・時計門・柵等
一般施設B	2施設	ステージ、デッキ、記念碑等、噴水等
一般施設C	4施設	休憩所、あずまや、パーゴラ、日影だな等

遊具等施設：

種別	数量	施設の内容
遊具A	15基	鉄棒、雲梯、スプリング遊具、シーソー砂場等
遊具B	1基	ブランコ
小型複合遊具	2基	遊具の先端を直線で結んだ多角形の面積が100㎡未満
大型複合遊具	1基	上記の面積が300㎡以上のものは、100㎡刻みで求積

建築物等：

種別	数量	施設の内容
100㎡以下	6棟	便所、炊事棟、管理棟等
300㎡以下	1棟	便所・休憩所

○事業の効果

本調査により各施設の健全度をA～Dランクで示して緊急度判定（高・中・低）を行い、事業費の平準化を図ることで、今後10年間における適切な維持管理計画を実施することが可能となる。

事業名		都市公園整備事業（中央公園バックスクリーン改修）		予算科目	会計	01	一般会計
事業開始年度		平成 24 年度	事業進捗率 100 %		款	08	土木費
担当部署		建設 部	都市計画 課		項	05	都市計画費
事業費 (A)		80,688,700 円			目	07	都市公園事業費
財源内訳	国庫支出金	50%	40,291,650 円	事業の目的・目標	老朽化が著しく手動操作に危険性が伴うスコアボードを改修し、利便性を高める。また表示画面全体を活用して野球以外の利用も可能にすることで、誰もが幅広く活用できる施設とし利用率を高める。 災害時には避難拠点としての機能も持たせ、防災情報を提供する拠点とする。		
	県支出金		円				
	地方債	100%	40,200,000 円				
	その他		円				
	一般財源		197,050 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

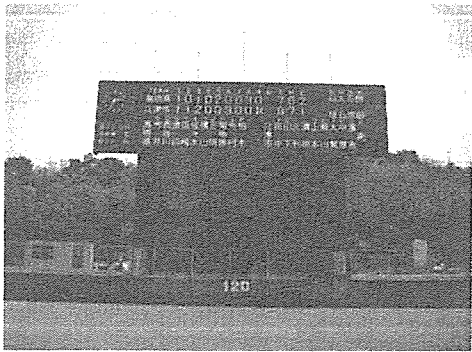
●スコアボード改修設計業務（2,883,300円）

既存スコアボードの現地調査や設置方式の検討および表示方式の検討等を行い、解体・意匠・構造・電気設備図を設計図として取りまとめた。また、プロポーザルの実施に関する資料作成及び選定委員会の運営を行った。

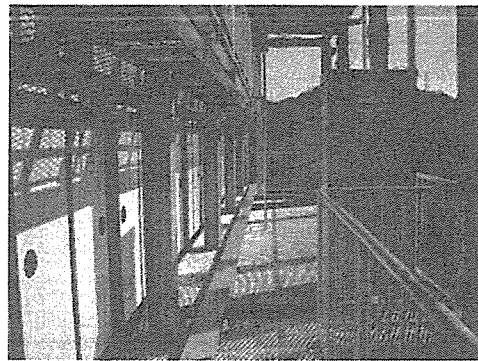
●スコアボード整備工事（77,700,000円）

既存スコアボード改修解体工事一式
スコアボード本体表示装置（LED方式）関連工事一式
電気設備電源引き込み工事一式

●先進地視察旅費（105,400円）



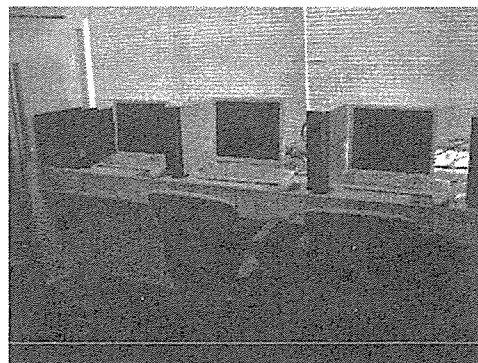
スコアボード全景



LED表示盤裏保守点検スペース



サブスコアボード全景



操作室

事業名	住環境整備事業（東高浜市街地整備事業）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	08	土木費
事業開始年度	平成 19 年度	事業進捗率	11 %		項	05	都市計画費
担当部署	建設部	都市計画課			目	07	市街地整備事業費
事業費（A）			59,907,215 円	事業の目的・目標	東高浜地区は、狭い地域に老朽化した木造住宅等が密集している地区であり、利便性の高い駅前地区にありながら人口減少・高齢化が著しく進行している。この地区の人々が、安全で快適な利便性の高いまちに改善するため、生活道路、公園、共同住宅の整備を行う。		
財源内訳	国庫支出金	50%	35,000,000 円				
	県支出金		円				
	地方債	100%	24,900,000 円				
	その他		円				
	一般財源		7,215 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

市道新開1号線の拡幅に伴い用地買収及び物件移転補償を行った。
H23年度繰越 用地買収 1筆、物件移転補償費 2戸

- ・用地買収 8筆（含繰越分1筆）、736.38㎡
- ・物件移転補償 5戸（含繰越分2戸）

単位：円

区分	予算現額	決算額	翌年度への繰越額	備考
委託料	440,000	0	440,000	再算定委託料
工事請負費	24,500,000	0	24,500,000	市道新開1号線改良工事
公有財産購入費	17,432,761	13,667,761	3,765,000	用地取得費
補償補填及び賠償金	71,649,745	45,521,745	26,128,000	物件移転補償費
事務費	1,584,709	717,709	667,000	旅費、庁費
合計	115,607,215	59,907,215	55,500,000	

○事業実施の状況

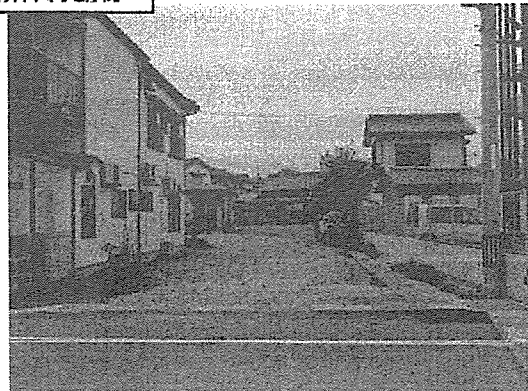
単位：円

区分	平成19～22年度	平成23年度	平成24年度	合計
委託料	27,923,700			27,923,700
用地・補償費		37,953,254	59,189,506	97,142,760
都市再生住宅負担金		104,231,287		104,231,287
事務費	387,850	3,308,244	717,709	4,413,803
計	28,311,550	145,492,785	59,907,215	233,711,550

物件移転前



物件移転後



事業名		住環境整備事業（本町街なみ整備事業）		予算科目	会計	01	一般会計
事業開始年度		平成 19 年度	事業進捗率 28 %		款	08	土木費
担当部署		建設 部	都市計画 課		項	05	都市計画費
					目	07	市街地整備事業費
事業費 (A)		4,465,000 円		事業の目的・目標	江津本町地区の歴史や文化を活かしながら良好な住環境を整備し、地区の活性化と定住促進を図る。		
財源内訳	国庫支出金	50%	2,232,500 円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		2,232,500 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

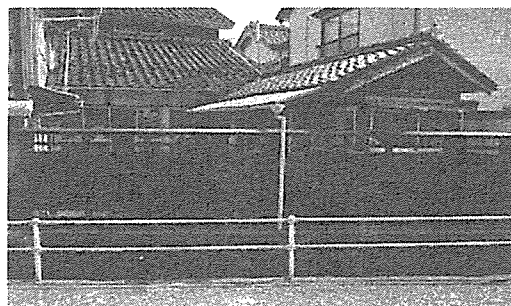
●住宅修景助成（1,000,000円）

平成19年度に定めた江津本町地区街なみ環境整備事業補助金交付要綱に基づき、地域の特性を活かした街並み景観の向上に取り組むこととしている。
今年度は要綱に基づく修景基準に適合し外観修景整備を行った3物件に対し補助金を交付した。



施工前

塀修景



施工後

●街路灯設計業務（472,500円）

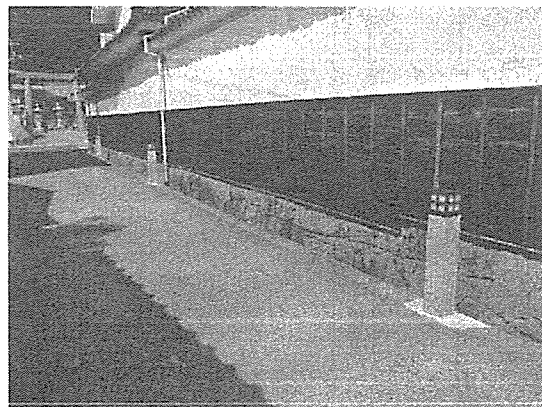
街路灯を整備するための設計業務を行った。

●街路灯整備工事（2,992,500円）

街路灯3基、フットライト3基を新設した。本町の街なみに配慮した周辺環境と調和したデザインを選定した。



街路灯



フットライト

○事業の効果

住宅修景については周囲の街なみと調和したものになり、街路灯については夜間の通行における地元住民の不安を解消することができ、本町の街なみ形成の一端を担うものになった。

事業名		中心市街地整備事業		予算科目	会計	01	一般会計
事業開始年度		平成 21 年度	事業進捗率 2 %		款	08	土木費
担当部署		建設部 都市計画課			項	05	都市計画費
事業費 (A)		27,171,720 円			目	07	市街地整備事業費
財源内訳	国庫支出金	100%	12,611,950 円	事業の目的・目標	駅前地区再生整備計画の拠点施設である公共複合施設、交流広場及び駐車場を整備し駅前地区の活性化を図る。		
	県支出金		3,505,950 円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		11,053,820 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- ・駅前地区再生整備計画の拠点施設である公共複合施設、交流広場及び駐車場、ならびに市道御幸通線および水源地通線の整備にあたり、支障となる物件移転補償調査を行った。
- ・中心市街地の活性化に向けた基本計画の策定において、中心市街地の現状把握及び課題を整理し基本的な方向性について検討した。また、駅前地区再生整備計画の拠点施設である公共複合施設の規模・機能など基本的な施設計画について検討した。

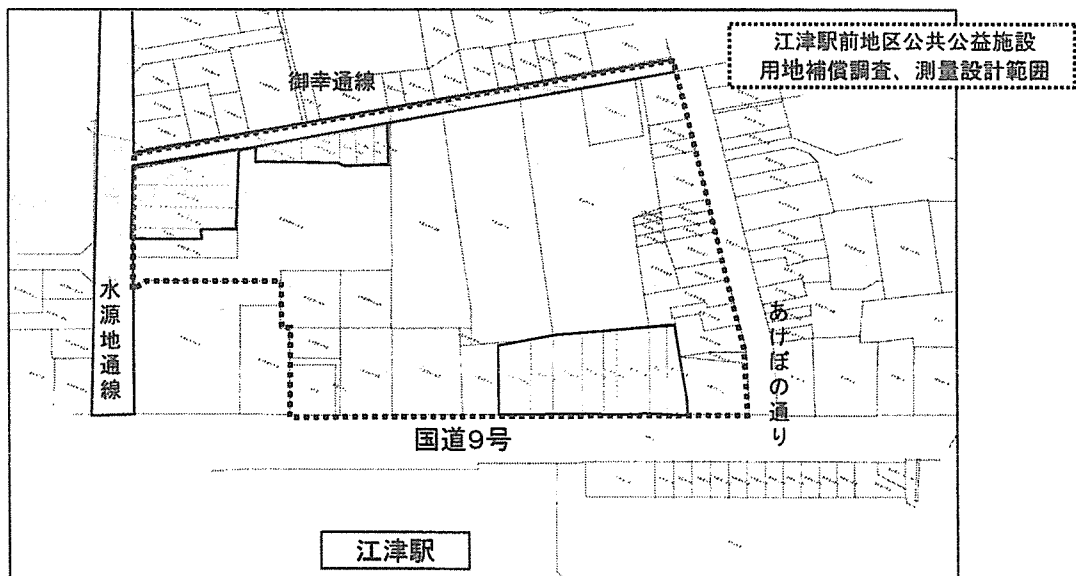
単位：円

区分	予算現額	決算額	翌年度への繰越額	備 考
委託料	64,222,850	16,882,950	47,333,850	用地測量、物件補償調査、実施設計
用地費	27,914,130	0	26,680,000	
補償費	41,290,000	0	41,290,000	
補助金	1,973,000	1,973,000	0	まちづくり活動支援補助金
事務費	10,479,020	8,315,770	496,150	旅費、庁費
合 計	145,879,000	27,171,720	115,800,000	

○事業実施の状況

単位：円

区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	合 計
委託料	9,450,000		8,893,500	16,882,950	35,226,450
補助金	2,000,000	1,000,000	4,500,000	1,973,000	9,473,000
事務費	450,000	455,050	455,856	8,315,770	9,676,676
計	11,900,000	1,455,050	13,849,356	27,171,720	54,376,126



事業名		住宅管理事業			予算科目	会計	01	一般会計
						款	08	土木費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率	%		項	06	住宅費
担当部署	建設	部	都市計画	課		目	01	住宅管理費
事業費		44,040,998 円			事業の目的・目標	市営住宅等の維持管理に要する経費。住宅管理事業1（経常的な経費）と住宅管理事業2（臨時的な経費）からなる。老朽化した住宅が多いため、住宅管理事業2では、老朽化が進行した住宅（設備）の改修を順次行っている。		
財源内訳	国庫支出金	1/2	40,337,000 円					
	県支出金		円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		3,703,998 円					

施策の内容、実績、及び効果

●住宅管理事業1と住宅管理事業2の内訳

事業名	事業費（円）	主なもの
住宅管理事業1 （経常的な経費）	20,618,248	修繕費 11,783,796円（166件）
住宅管理事業2 （臨時的な経費）	23,422,750	委託料 7,741,650円 工事請負費 15,326,850円

●住宅補修工事の状況（住宅管理事業2：工事請負費 15,326,850円）

尾浜団地電気設備修繕工事	1,155,000円
尾浜団地玄関ドア取替工事	4,084,500円
浅利曙団地バランス釜取替工事	1,975,050円
浅利旭団地玄関ドア取替工事	4,084,500円
浅利曙団地5号棟修繕工事	2,652,300円
浅利曙団地5号棟バランス釜取替工事	1,375,500円

●管理代行（指定管理）導入に要した経費（住宅管理事業2：委託料 7,741,650円のうち）

公営住宅管理システム整備委託料	7,455,000円
-----------------	------------

事業名		市営住宅等除去事業		予算科目	会計	01	一般会計
事業開始年度		平成 24 年度	事業進捗率 100 %		款	08	土木費
担当部署		部 課			項	06	都市計画費
					目	01	住宅管理費
事業費			18,375,000 円	事業の目的・目標	シビックセンターゾーン内に建設が完了し、江津中央団地に移転を終えた旧市営住宅和木団地を解体除却する。		
財源内訳	国庫支出金	1/2	9,187,000 円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		円				
	一般財源		9,188,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

シビックセンターゾーン内に集約建替えを完了した江津中央団地に、既存団地から入居者の移転が完了した旧団地について随時用途廃止を行い、解体除却工事を進めており、今年度は和木団地の解体工事を行った。

引き続き、大貫団地を解体する計画である。

旧団地は、老朽化が著しいため、他用途への転用は考えられず、維持管理経費の負担及び防犯上の観点から、社会資本整備総合交付金が利用できるうちに、速やかに解体除却する計画である。

PC造2階建（4棟 20戸）：（5戸）277.34㎡×2棟

（6戸）332.79㎡×1棟

（4戸）221.86㎡×1棟

物置ユニット 16棟：（小 1戸用）3.3㎡×14棟

（大 3戸用）9.6㎡×2棟

延床面積：住戸棟 A=1109.33㎡

物置 A=65.40㎡

解体前既存住宅



解体後

